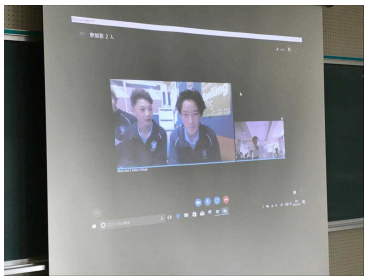
# 「U－18未来フォーラム事業」（旭川永嶺高校）

平成29年６月14日（水）、北海道旭川永嶺高等学校において、「Ｕ－１８未来フォーラム事業」における海外協力校（ニュージーランド、ネルソンカレッジ）との交流授業が行われました。



本事業は、ＩＣＴの活用による海外の高等学校等との交流を通じて、生徒が国際的な視野を広げ、コミュニケーション能力を高めることを目的としています。

旭川永嶺高校においてＩＣＴを活用した授業は今年度初めてであったため、２年生27名は、ネルソンカレッジの日本語を学習する高校生５名に向けて、自己紹介（自分の名前と年齢）や自分の好きなことなどについて発表しました。また、海外協力校の生徒へ「趣味は何ですか」など意欲的に質問する生徒もいました。

授業の後半では、海外協力校の生徒から、「一番好きなスポーツは何ですか」など日本語による質問があり、永嶺高校の生徒が日本語で答える場面もありました。

今後は、ＩＣＴの活用による交流を通じて、外国の事情や異文化について理解を深めるとともに、自国の事情や文化などを取り上げ、お互いの文化等の類似点や相違点について考えたり、海外協力校のニーズに応じて、日本語を教えたりする取組が期待できそうです。

## This activity was fun! We want to talk with them again!! （生徒の感想）

- ○ 自分と同年代の生徒とコミュニケーションをとり、伝えよう、聞き取ろうという気持ちがあれば、こんなにも楽し会話ができ、通じ合えるのだと実感しました。
- ○ 初めは緊張したけれど、海外協力校の生徒と話しているうちに楽しくなってきました。他国の人と話すことにより、少しだけですが自分の世界が広がったため、よい経験となりました。
- ○ 海外の人とつながることは、すごいことだと思いました。英語でスラスラ会話ができたらもっと楽しいだろうなぁと思いました。
- ○ 楽しかったのですが、質問をもう少し考えておけばよかったと思います。また、海外協力校の生徒が、日本語を練習してくれていたのがうれしかったです。
- ○ 次回は、テーマを決めて、簡単な会話がしたいです。
- ○ 自分と同年代の人と初めて英語で話すことができてよかった。
- ○ 相手の伝えたいことを聞き取ることや、会話することの楽しさを知ることができました。